

全身麻酔で手術を受けられる患者さんへ

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染が拡大している中、今問題になっているのは、無症候性（知らないうちに新型コロナウイルスに感染し症状がない状態）の患者さんが全身麻酔で手術を受けられると、ご自身の肺炎や他の持病が悪化する危険性や、診療行為に伴って医師や看護師、他の患者さんが感染して院内感染が広がる可能性が極めて高くなることです。

当院ではこうした事態を未然に防ぐことを目的として、全身麻酔で手術を受けられる予定の患者さんを対象に予防策を講じることにいたしました。

具体的には、入院当日に以下の二つの検査を受けていただきます。

- (1) 検温とパルスオキシメーター（機械で指を挟み、動脈血酸素飽和度と脈拍数を測定するための装置）で酸素の値を測定する
- (2) 胸部 CT 検査を受けて頂き、軽微な肺炎の有無をチェックする

検査で異常が認められなければ予定通り手術を受けて頂きますが、いずれかの検査で異常を認めた場合には、一旦手術を延期させていただく事となります。

また、手術までの期間は以下の事にご留意いただきますようお願い申し上げます。

1. 入院前は不要不急の外出は避けてください。
2. 手洗い・うがいをこまめに行い、外出する際にはマスクをして、密閉・密集・密接の環境を避けてください。
3. 入院までの1週間は、毎日、行動歴と検温を別紙に記載してください。

一般社会における新型コロナウイルスの感染状況が日々深刻さを増す中、患者さんの健康をお祈り申し上げますとともに、この度の措置にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。